

津波被災地で立ち上がった農業生産法人が東北農政局長賞を受賞しました！

—キャベツ栽培の機械化をはじめとした大規模複合経営の優良モデル—

【農業農村整備部】



専用機械によるキャベツの収穫作業

1月23日、平成26年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰式が行われ、復興交付金を活用して生産対策などに積極的に挑戦し営農の安定に取り組む優良事例として、岩沼市の農事組合法人林ライス(以下、(農)林ライス)が東北農政局長賞を受賞しました。

(農)林ライスは、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた地域の耕土を守るため、有志による話し合いや、復興交付金を活用した農業用機械・施設のリース事業の勉強会を積み重ね、岩沼市東部地域において、地域農業を守る担い手として設立されました。

設立後は水稻直播栽培(※1)やキャベツ栽培の機械化などに挑戦し、育苗ハウスを活用してほうれんそうやつるむらさきな

どの栽培に取り組む一方、協力員制度(※2)の導入による若手人材の育成も行っています。また、復旧・復興が進む地域で、収穫祭を開催することにより地域コミュニティの再興にも貢献しています。震災発生から現在に至るまでの短期間で、これらの取組を実践していることから、津波被災地域での競争力の高い農業の実現モデル事例として今回表彰されたものです。

表彰式当日は賞状の授与の後、他の受賞団体とともに東北農政局との意見交換会が行われ、取組の発表や今後の課題などについて質疑応答が交わされたほか、農地中間管理機構を活用した農地集積や、農村の賑わいを取り戻すための地域一体となった取組への展望など活発に意見が交わされました。

岩沼市東部では、復興交付金を活用した県営農地整備事業による2ha超の大区画ほ場や地下かんがいシステムの導入など先進的な営農環境の整備が行われており、(農)林ライスに続いて設立される新たな法人の活躍・発展が期待されます。



表彰式

※1：稲の種もみを直接水田にまく栽培方法。

※2：次世代の農家を「協力員」と位置づけ、週末を活用して農作業を手伝ってもらうなど、栽培技術や農業経営のノウハウを伝授する体制を構築している制度。

巨理地域農業経営実践展開講座Ⅱ「経営を支える機械の使い方」を開催！

【農業振興部：巨理農業改良普及センター】

平成26年産米価の下落により土地利用型経営体は所得の落ち込みに直面しており、所得を確保するためにさらなる経費の節減が求められています。

【次ページに続く】



ICTを活用した労務管理の説明の様子

このため2月3日、巨理農業改良普及センター(以下、巨理普及センター)では「巨理地域農業経営実践展開講座Ⅱ『経営を支える機械の使い方』」として、効率的な営農による労務費の削減や機械の長寿命化による生産コストの削減を支援する講座を開催しました。

はじめに、巨理普及センターから「水稻大規模経営体における経費内訳から見た経営改善のヒント」と題して機械の長寿命化や作業効率向上の必要性などについて説明しました。

続いて、名取市で大規模経営に取り組む有限会社耕谷アグリサービスの佐藤克行専務を講師にICT(情報通信技術)を活用した労務管理技術の活用状況などについて情報提供をいただきました。

さらに、クボタアグリサービス株式会社の伐明俊治部長補佐からは、機械の長寿命化による生産コストの削減を図るための農業機械のメンテナンスのポイントなどについてお話をいただきました。

意見交換では出席者から「規模拡大に伴い作業の効率化が課題となっており、ICTの活用も今後検討していきたい」「農業機械の維持経費が大きくなっているのでメンテナンスの大切さが理解できた」などの意見が出されました。

巨理普及センターでは今後も、経営体が直面する課題解決や法人間の連携推進に向けた支援を行っていきます。

農業の復興が加速化！新たに4つの農事組合法人が立ち上がる

【農業振興部：仙台農業改良普及センター】



農事組合法人ファームセヶ浜設立総会の様子

仙台地域の津波被災地域では、震災を機に従来の個別経営から組織経営へと移行した生産組織が単なる復旧にとどまらない経営の発展に取り組んでいます。仙台農業改良普及センターでは関係機関と連携し、これら新たに立ち上がった生産組織を対象に研修「仙台農業復興塾」の開催などを通じ組織経営に必要な経営方針の明確化に向けた支援を行ってきました。

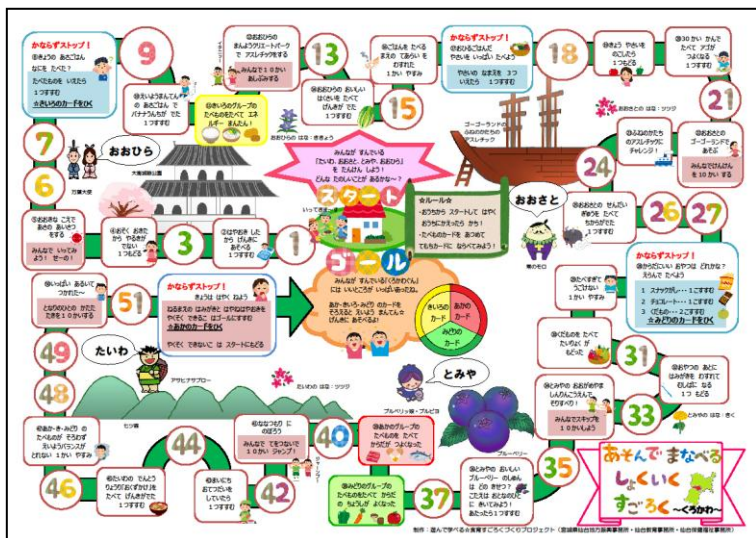
その結果、本年1月には農事組合法人せんだいあらはま(仙台市若林区)、農事組合法人六郷南部実践組合(仙台市若林区)、農事組合法人ファームセヶ浜(セヶ浜町)、農事組合法人グリーンファーム松島(松島町)の4つの生産組織が法人化を果たし、法人経営としての新たな一歩を踏み出しました。

これらの4法人は、「人が集い震災前の賑わいを取り戻すこと」や「地域の農地を守り農業を未来へ引き継ぐこと」など、それぞれの組織が目指す経営理念に基づき、農地集積による大規模化や機械の共同化による生産性向上や低コスト化、新たな経営部門の導入により収益性の向上をすすめ、さらなる経営基盤の強化に取り組んでいくこととしています。

今後、これらの組織が牽引役となり、地域農業の復興が加速することが期待されています。

遊んで学べる☆食育すごろく～くろかわ～
 すごろくで黒川地域を探検しながら、生活習慣や地域食材について学ぼう！！

【地方振興部】



食育すごろく

仙台地域は、全国と比較して肥満傾向児の割合が高く、特に黒川地域では、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合が高い状況にあります。

そこで、食育関連3公所(仙台地方振興事務所、仙台教育事務所、仙台保健福祉事務所)でプロジェクトを立ち上げ、食生活を含む基本的な生活習慣や黒川地域の食材、郷土料理など「食」に関することを楽しく学んでもらうことを目的に、小学校1～3学年及び保護者を対象にした食育教材「遊んで学べる☆食育すごろく～くろかわ～(以下すごろく)」を制作しました。

子どもの発達に必要な「遊び」を通じて、楽しく食への興味・関心を育むことができるすごろくです。皆で一緒に楽しく「食育」をしましょう。

遊んで学べる☆食育すごろく～くろかわ～ ホームページからダウンロードして活用ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-hohuku/syokuiku.html>

冬鳥の飛来、過去最高

【林業振興部】

宮城県では、昭和44年度から冬鳥の生息調査を実施しています。

この調査は、ガン類、カモ類、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護などに必要な資料とするために実施するもので、11月(渡来初期)・1月(渡来最盛期)・3月(渡去期)の年3回、林業振興部を含む県職員、自然保護員、関係団体職員などが調査を担当しています。

調査のうち、1月(渡来最盛期)は全国一斉調査となっていますが11月(渡来初期)・3月(渡去期)は本県独自で実施しているものです。

本年1月の調査では、県全体でガン類、カモ類、ハクチョウ類が過去最高(20万8千羽)で、カモ類については過去5番目(6万2千羽)、合計で27万羽を超える過去最高の飛来数を記録しました。

仙台地域でも、ガン類、カモ類、ハクチョウ類すべてにおいて、ここ数年増加傾向を示しています(1月調査:合計2万8千羽)。

一方で、傷病野生鳥獣の救護活動についても既に前年を上回る状況となっています(1月末時点:409件)。林業振興部では、傷病野生鳥獣の救護に取り組みながら、生息調査の結果を活かして野生生物保護を進めていきます。



肺炎による体調不良の野鳥に
薬を与える職員

■ゆりあげ港朝市バスツアー■

日時：3月8日(日), 15日(日), 22日(日), 29日(日) 午前6時30分～午前9時30分

場所：ゆりあげ港朝市(名取市閑上)

内容：毎週日曜日に開催される朝市には約50店舗が集まり、威勢のいい掛け声を響かせながら、新鮮な魚介類をはじめ、水産加工品、取れたての野菜、果物などを販売しています。人気は、朝市で購入したエビ、ホタテ、牡蠣などの新鮮な海の幸を炭火焼きできる炉端焼きコーナーです。

問ゆりあげ港朝市 Tel: 022-395-7211

びゅう予約センター Tel: 0570-04-8928

■七の市■

日時：3月29日(日) 午前8時～午前10時

場所：七ヶ浜町役場駐車場(七ヶ浜町東宮浜丑谷辺5-1)

内容：毎月恒例の七の市。七ヶ浜の旬の食材をご用意して皆様のお越しをお待ちしています！

問多賀城・七ヶ浜商工会 七ヶ浜事務所 Tel: 022-357-3912

■竹駒神社初午大祭■

日時：3月31日(火)～4月6日(月)

場所：竹駒神社(岩沼市稻荷町1-1)

内容：竹駒神社の年中最大行事である「初午大祭」は、毎年旧暦2月の初午の日から7日間にわたり五穀豊穰・商売繁盛・家内安全などを願って執り行われます。期間中の日曜には、市指定文化財の「竹駒奴」や稚児・神輿・騎馬武者による華麗な大名行列が繰り広げられます。

問竹駒神社社務所 Tel: 0223-22-2101

■しおがまさま 神々の花灯り■

日程：4月17日(金), 18日(土)

【しおがまさま神々の花灯り】

時間：午後6時30分～午後8時30分

場所：志波彦神社・鹽竈神社境内(塩竈市一森山1-1)ほか

【酒蔵めぐり】

時間：午後5時30分～午後7時30分

場所：(受付)塩竈観光物産案内所(塩竈市海岸通5-7/JR仙石線本塩釜駅神社参道口前)

内容：「しおがまさま」の愛称で親しまれる鹽竈神社が桜で満開になるころ、202段の表参道や境内に竹ろうそくがともります。由緒ある荘厳な舞殿で雅楽や琴が演奏され、風情ある明かりと音の共演が楽しめます。市内の三つの蔵元の地酒を味わう「酒蔵めぐり」も同時開催します。

問塩竈観光物産案内所 Tel: 022-362-2525

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部(担当：山本)

TEL: 022-275-9140 FAX: 022-275-0296 (E-Mail) sdsinbk2@pref.miyagi.jp

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は4月下旬発行予定です。